

- 現在、我が国において、インマルサット衛星を用いて、観測機器や動的資産などのテレメリーデータを送受信するインマルサットD型システムが運用されている。
- 今般、ソフトウェアアップデートにより、データの伝送速度を向上させた端末の国内導入の要望があったことから、無線設備規則の一部改正を行う。

対象端末例



ORBCOMM ST2100

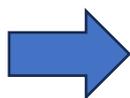


ORBCOMM ST6100



ORBCOMM SC1000

ソフトウェアアップデート
の実施

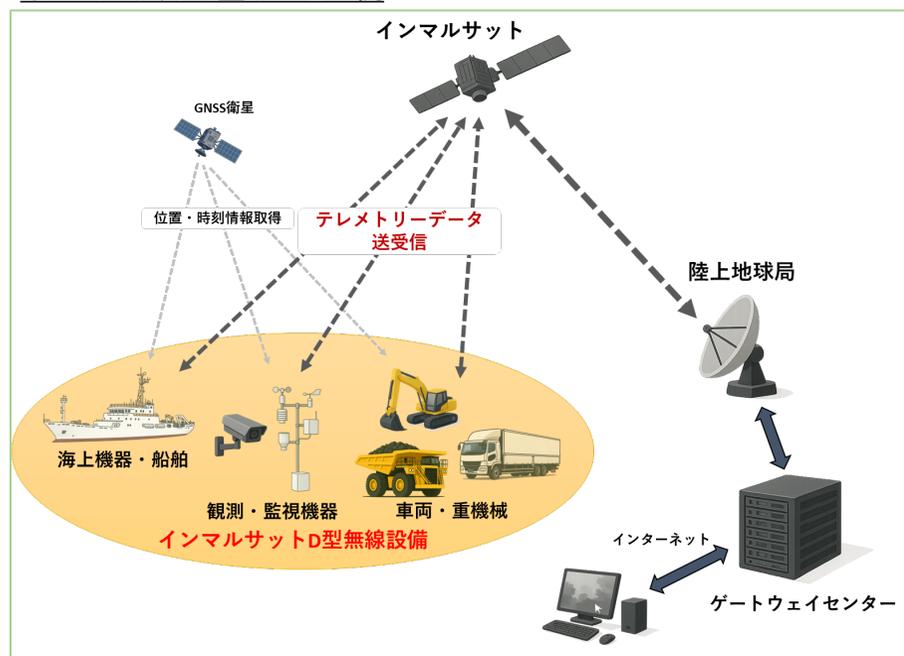


インマルサットD型システム
IDP (IsatData Pro)
(送信速度：～1,800bps)

従来のインマルサットD型システム
よりも最大約40倍の高速化※
(送信速度：～25,600bps)

※デューティサイクルの向上やレイテンシの短縮を含む処理速度の向上による。

インマルサットD型サービス例



<省令改正事項>

省 令	改 正 内 容
無線設備規則	インマルサット携帯移動地球局のインマルサットD型の無線設備であって、G-D電波を使用するもののうち、高速通信が可能なものに係る技術基準を定めること。 (第四十九条の二十四関係)